



どう死ぬかより前向きに考えて

生きる尊さを訴え

当別

がんで妻を亡くす 鎌田さん講演

【当別】「当別町で 幌市在住」が講演し、

のふくしのまちづくり 妻と過ごした日々を振り返りながら「どう死ぬかではなく、前向きにどう生きるかを考えることでは強くな

さを訴えた。 約100人が参加し

た石狩市内の中学校教諭鎌田守さん(33)「札

る」と生きるこの尊

な日々を送っていた

妻の茜さんと長男の隼君と過ごした日々を語る鎌田守さん

が、がんが再発し2009年に29歳で亡くなった。

鎌田さんは、茜さんが病気に負けないように夢を持ちながら懸命に生き抜こうとしていた側で「毎日を楽しんでいると思ってもらうことが病気を治す近道」と考え、笑顔を心掛けながら接していたことなどを説明した。その上で「当たり前に起きていることは実は奇跡の連続。一日一日を大切に過ごしてほしい」と話し「今日という日は誰かが生きたかった明日かもしれない。そういう思いを胸に刻んで生きていきます」と講演を終えると、会場から温かい拍手が送られた。